

## 陸前高田発

## 現場見学で復興を実感

陸前高田市立小友小学校の3年生から6年生39人が自分たちの街が震災からどのくらい復興して



いるのか学ぼうと防潮堤や高台の工事現場を訪ねました。長さ2キロに渡って建設が進められている

高田地区の防潮堤では工事の担当者から防潮堤の高さが12.5メートルで、今年12月に8割が完成するという説明を受けました。また気仙町今泉地区の高台で児童たちは造成工事や中心市街地のかさ上げの様子を眺め、復興が進む街の姿に目を輝かせていました。(10/19 ニュースエコー)

## 宮古発

## 街なか復興市

震災や先の台風10号で大きな被害を受けた宮古市中心部の商店街で、なりわい再生に向けた復興市

が行われました。この復興市は震災の年に始まりましたが、今年は8月末の台風10号で再び多くの店が被災したため日程を延期し、同じく延期していた「みやこ秋まつり」と一緒の開催になりました。会場では旬のサンマのつみれ汁が格安で提供されたほか各店舗による100円均一コーナーなどイベントが企画され大勢の買い物客でにぎわいました。実行委員会では「元気に頑張る姿をアピールしたい」と話していました。(10/22 ニュース)



め日程を延期し、同じく延期していた「みやこ秋まつり」と一緒の開催になりました。会場では旬のサンマのつみれ汁が格安で提供されたほか各店舗による100円均一コーナーなどイベントが企画され大勢の買い物客でにぎわいました。実行委員会では「元気に頑張る姿をアピールしたい」と話していました。(10/22 ニュース)

## 釜石発

## はしのうえ朝市

釜石市に13年前まで日本唯一の橋上市場があった所で「釜石はしのうえ朝市」が開かれ、15の店



が軒を連ねました。街を盛り上げたいと若者グループが開催したものです。中でもご飯の上で店で買った好みの具をのせて食べる「釜石のつけ丼」が人気で、訪れた人たちは刺身やメカブなど

思い思いに盛り付けたオリジナル丼を美味しく思うにはお張っていました。(10/23 ニュース)

## 陸前高田発

## 松原再生へ試験植栽

東日本大震災の津波で失われた高田松原の再生に向けて、試験的に松の苗を植える作業が陸前高田市の防潮堤の海側に用意された広さ400平方メートルの盛土の上で行われました。50センチほどに成長したクロマツとアカマツの苗木およそ150本をNPO法人「高田松原を守る会」のメンバーらが丁寧に植えていきました。県は高田地区の防潮堤の整備を進めるとともに砂ぼこりや塩害などからまちを守る防災林として高田松原の再生を計画しています。来年の春には本格的な植栽が始まり、平成31年度中の完了を目指します。再生された高田松原は、およそ2キロにわたり4万本の松が立ち並ぶ市民の憩いの場になる予定です。(10/25 ニュースエコー)



## 宮古発

## さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、みやこハーバーラジオの木村彩子さんが、宮古のボランティアグループ「もやいの会」の活動について伝えてくれました。ここでは過去の出来事や体験を思い出して、それについて話し合う心理療法「回想法」による高齢者支援を行っています。震災のあった年の12月には三陸鉄道を貸し切って「想い出列車」を開催しましたが、話をしたいという方40名が集まり、互いに再会し、懐かしい話をしたりして笑顔で帰ったという事です。現在は震災の影響による高齢者の閉じこもりや、孤立、認知症の発症を予防するため、市内の仮設住宅や地域介護予防や地域介護予防防教室などで、グループ回想法や研修を行っています。会長の佐々木さんは「今後は更に活動範囲を広げていきたい」と話しているということです。(10/26)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122